



自動車部品－  
非鉛油系液圧ブレーキマスターシリンダ

JIS D 2603 : 2005

(JAPIA/JSA)

平成 17 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 自動車技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員会長)	土屋 孝夫	社団法人自動車技術会
(委員)	角村 浩	国民生活センター
	加藤 幹夫	株式会社本田技術研究所
	川嶋 弘尚	慶應義塾大学
	小林 行雄	社団法人日本自動車連盟
	齊藤 敬三	独立行政法人産業技術総合研究所
	佐々木 要助	株式会社曙ブレーキ中央技術研究所
	島田 豊彦	社団法人日本自動車部品工業会
	鷹觜 豊二	社団法人全日本トラック協会
	戸澤 秀実	国土交通省
	平松 金雄	財団法人日本自動車研究所
	八谷 道紀	日産自動車株式会社
	水野 慶之	財団法人日本自動車輸送技術協会
	森部 幸男	社団法人日本自動車整備振興会連合会
	横山 文則	トヨタ自動車株式会社
	和田 政信	日本自動車輸入組合

---

主務大臣：経済産業大臣 制定：昭和 36.9.1 改正：平成 17.3.20

官報公示：平成 17.3.22

原案作成者：社団法人日本自動車部品工業会

(〒108-0074 東京都港区高輪 1-16-15 TEL 03-3445-4211)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1573)

審議部会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 二瓶 好正）

審議専門委員会：自動車技術専門委員会（委員会長 土屋 孝夫）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## まえがき

この規格は、工業標準化法第14条によって準用する第12条第1項の規定に基づき、社団法人日本自動車部品工業会(JAPIA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS D 2603:1993**は改正され、この規格に置き換えられる。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかる確認について、責任はもたない。

## 目 次

	ページ
1. 適用範囲 .....	1
2. 引用規格 .....	1
3. 種類 .....	2
4. 最高使用圧力 .....	2
5. 性能 .....	2
5.1 構成部品の性能 .....	2
5.2 組立品の性能 .....	2
5.3 低温作動性 .....	3
5.4 作動耐久性 .....	3
5.5 保存腐食性 .....	5
5.6 リザーバ容量 .....	5
5.7 真空保持力 .....	5
6. 構造 .....	5
7. 主要寸法 .....	6
7.1 シリンダボディ .....	6
7.2 ピストン .....	6
7.3 ねじ .....	6
8. 外観 .....	6
9. 主要部品の名称及び材料 .....	7
9.1 部品名称 .....	7
9.2 材料 .....	7
10. 表示 .....	8
解 説 .....	16

# 自動車部品－非鉱油系液圧ブレーキマスターシリンダ

Automotive parts—Hydraulic brake master cylinders for hydraulic brake systems using a non-petroleum base hydraulic brake fluid

**1. 適用範囲** この規格は、非鉱油系ブレーキ液を使用する自動車用ブレーキのタンデムマスターシリンダ及びシングルマスターシリンダ（以下、マスターシリンダという。）について規定する。

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS B 0209-1** 一般用メートルねじー公差—第1部：原則及び基礎データ

**JIS B 0401-1** 寸法公差及びはめあいの方式—第1部：公差、寸法差及びはめあいの基礎

**JIS B 0633** 製品の幾何特性仕様（GPS）—表面性状：輪郭曲線方式—表面性状評価の方式及び手順

**JIS B 2704** 圧縮及び引張コイルばね—設計・性能試験方法

**JIS D 2605** 自動車部品—非鉱油系液圧ブレーキシリングのゴムカップ

**JIS D 2608** 自動車部品—非鉱油系液圧ブレーキホイールシリンダのゴムブーツ

**JIS G 3101** 一般構造用圧延鋼材

**JIS G 3141** 冷間圧延鋼板及び鋼帶

**JIS G 3521** 硬鋼線

**JIS G 3522** ピアノ線

**JIS G 4051** 機械構造用炭素鋼鋼材

**JIS G 4303** ステンレス鋼棒

**JIS G 4313** ばね用ステンレス鋼帶

**JIS G 4401** 炭素工具鋼鋼材

**JIS G 5501** ねずみ鋳鉄品

**JIS H 3100** 銅及び銅合金の板及び条

**JIS H 3110** りん青銅及び洋白の板及び条

**JIS H 4040** アルミニウム及びアルミニウム合金の棒及び線

**JIS H 5202** アルミニウム合金鋳物

**JIS K 2228** 自動車ブレーキ用非鉱油系ラバー潤滑剤

**JIS K 2233** 自動車用非鉱油系ブレーキ液

**JIS K 6259** 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—耐オゾン性の求め方